

がん検診を

受診された方へ



がん検診の流れ

がん検診は、症状のない健康な方が対象となります。症状のある方は医療機関を受診することが重要です。

がん検診受診

「要精密検査」と言われたら、がんの疑いを含め異常が「ありそう」と判断されたということです。必ず医療機関を受診しましょう。

異常なし

要精密検査

精密検査不要

医療機関を受診(保険診療になります)

次回の
がん検診

異常なし
または
良性病変

継続してがん検診を受診しましょう。

経過観察

治療

次回のがん検診は不要です。担当医の指示に従い、必要な検査を受けましょう。

精密検査結果について

医療機関で受けられた精密検査の結果は、国の指針に基づき、がん検診の精度管理のために、福岡市、健診機関、精密検査実施医療機関で情報を共有させていただきます。ご理解のほどお願い申し上げます。

がん検診の「メリット」「デメリット」

メリット

- 最大のメリットは早期発見、早期治療による救命にあります。
- がんは早期であれば治せる可能性は高いため、身体的、精神的負担や経済的負担が軽減できます。
- がんになる前段階の病変（ポリープや潰瘍、異型上皮など）が見つかることがあります。必要に応じて治療をすることで、がんになることを防ぐことができます。

デメリット

- がん検診の判定、診断結果が100%正しいわけではありません。がんの場所や種類によっては見つけづらく、見逃されることもあるのが現状です。ただし定期的に検診を受けることで、がん発見の確率は高まります。
- がんの疑いがあると判定されて精密検査を受けても、がんが見つからないこともあります。早期発見・早期治療のためにはある程度やむを得ないことですが、結果的に不必要な検査につながることもあります。